

推薦のことは

「新芭蕉俳句大成」に期待する
―「夏草や」の句を例に―



日本文学研究者
ドナルド・キーン

一九四六年、昭和二十年、コロンビア大学の角田柳作先生の指導の下、私は「おくのはそ道」に出会いました。それからずっと芭蕉の生涯と芭蕉の俳句の研究を続けてきました。
俳句は世界でもっとも短い詩です。しかし、ヨーロッパのモテクラムとは違って、深い詩の世界を形成しています。

芭蕉の句にはたくさん好きなものがありますが、その中で「どうしても一番いい句と思うものを選び」と脅迫されたら、夏草や兵どもが夢の跡

をあげるでしょう。眼前に茂る夏草、そこに昔戦つて死んでいった兵どもの姿が蘇る―としてこんな詩の世界をわずか十七音の文字で作れるのでしょうか。この句には、ロマ字書きすると「O」o」という発音が繰り返されています。「O」という発音は、洋の東西を問わず、悲しい音の響きがとめられているのです。

「夏草や」の句は、「夢」の解釈をめぐるとさまざまな説が展開されてきましたが、角田源義氏が「俳句の国際化（角田源義全集）四」という文章で書いたように、「芭蕉は」のとき、複式夢幻能の「諸国見の僧」の立場で、この句を発想したのだといった説も、近年見直されてきているようです。

『新芭蕉俳句大成』には、戦後六八年、ちょうど私が取り組んできた芭蕉研究の歴史と重なる年代の、そうした芭蕉の句の研究の歩みが、丁寧にまとめられています。これからの芭蕉俳句研究の再出発となるでしょう。俳句の国際的研究を進める上で、大変有意義な本となるでしょう。

明るく自在に、
七〇年間の諸注を探る



俳人
金子兜太

この新芭蕉俳句大成は、芭蕉の全発句についての、戦後約七〇年間の諸説の要旨を整理点検し、「それぞれの句の解釈の方向性を探る」ものであるという。諸説の文獻は膨大であるが、執筆陣には、研究者だけでなく、優秀な若手俳人も加わっているのが嬉しい。

芭蕉の俳句の研究は、何も俳文学者だけのものではなく、かつての加藤秋邨をはじめ、主要な現代俳人たちも、俳句総合誌・結社誌などに、実作者の感性を生かした、独自性の強い説を発表してきた。そうしたものにも目配りをしてるので、新鮮な期待がもてる。

さらに編者に、現在の芭蕉研究をリードしている堀切実、田中善信、佐藤勝明の名があり、これをサポートする信頼できる編集委員も加わっている。特に芭蕉没後の俳諧大衆化への道を、「姿先情後」の説―「姿先」によって先ず大衆化をすすめ、「情後」によって師の求めていた内実を探るという表現論―をふりかざして、力強く切り拓いていった蕉門各務支考を研究することで、「和歌優美」に対する「俳諧自由」の精神を明らかにしてくれた堀切氏の見識には期待したい。

芭蕉没後320年記念出版

諸注評釈

新芭蕉俳句大成

堀切 実・田中善信・佐藤勝明〈編〉

芭蕉の全発句一〇〇四句が
徹底して読み味わえる大事典、ついに完成！

戦後七〇年にもおよぶ芭蕉句の研究成果をこの一冊に凝縮。多種多様な諸説を、引用しながらわかりやすく説いた、読んで楽しく、調べて納得の、芭蕉研究史上最大の解釈・鑑賞事典。芭蕉句の魅力のすべてが、今明らかに―



2014年
10月12日
芭蕉忌
刊行予定

予約特別定価 本体22,000円(税別) (2014年10月12日まで予約受付中)
A5判、上製函入り、1300頁予定、定価 本体25,000円(税別)

明治書院

諸注評釈 新芭蕉俳句大成

2014年10月12日まで特別定価 本体22,000円(税別) 定価 本体25,000円(税別) ISBN 978-4-625-40406-1

同時注文受付中

岩田九郎著 諸注評釈 芭蕉俳句大成 [オンデマンド版]

A5判、並製カバー装、1496頁、本体21,200円(税別) ISBN 978-4-625-47406-4

お名前	TEL	店印
ご住所 〒		

FAX 03-5292-6183

株式会社 明治書院 〒169-0072 東京都新宿区大久保1-1-7 TEL 03-5292-0172

